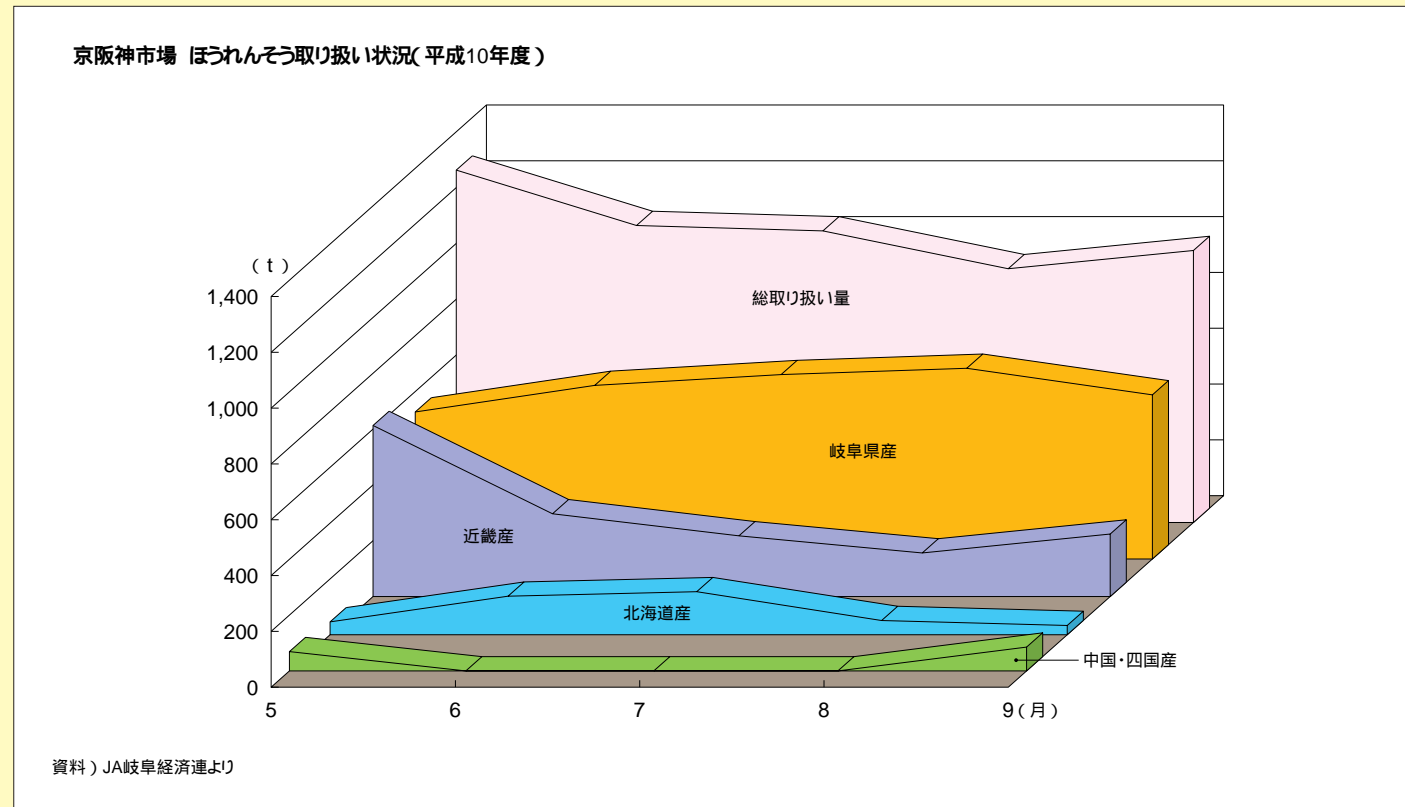


産地の形成により安定した供給が可能となります。

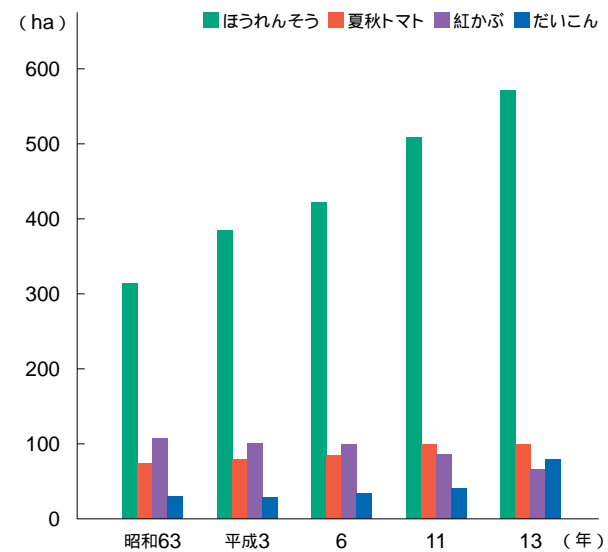
岐阜県の飛騨地域では、国営農地開発事業「飛騨東部第一地区」で開発された農地を利用し、冷涼な気候を生かし、ほうれんそうの一大産地となり、京阪神市場の夏場のシェアの大半を占め、安定供給を可能にしています。



ほうれんそうの収穫(雨よけハウス栽培)

主要作物の作付け面積の推移

高山市等4市町村のほうれんそうの作付け面積は昭和63年から平成13年までで約1.8倍に増加しています。

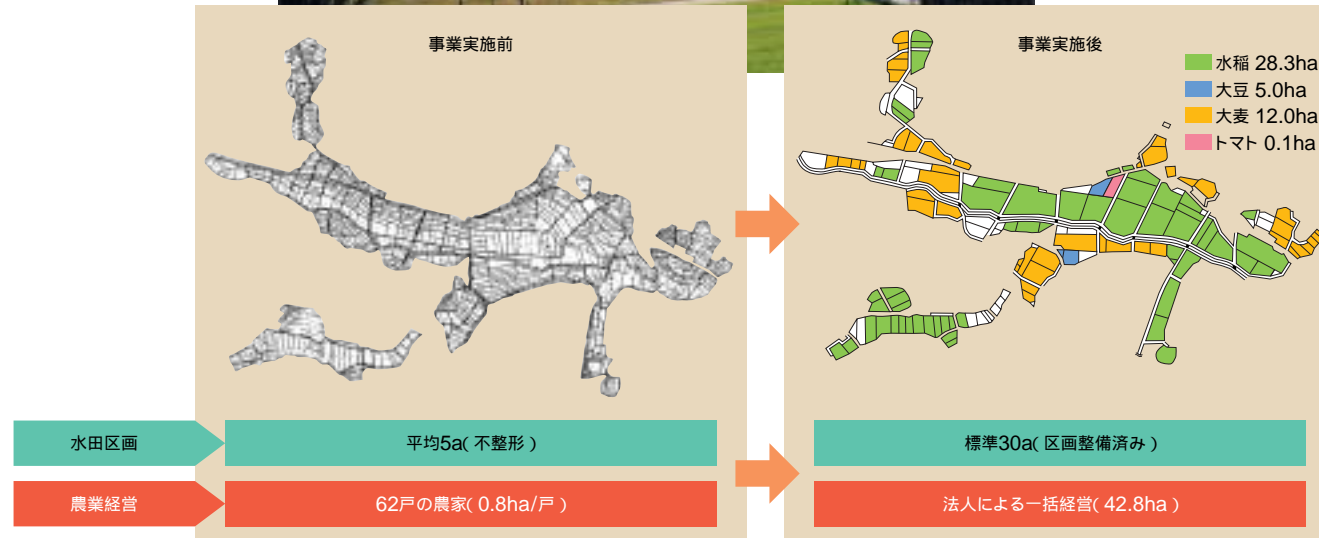


食料の安定供給には担い手の存在が不可欠です。

広島県田打地区では、ほ場整備を契機に、集落の農家62戸が参加して農事組合法人「さわやか田打」を設立し、法人が集落の農地の85%に当たる43haを一つの農場として効率的に経営しています。

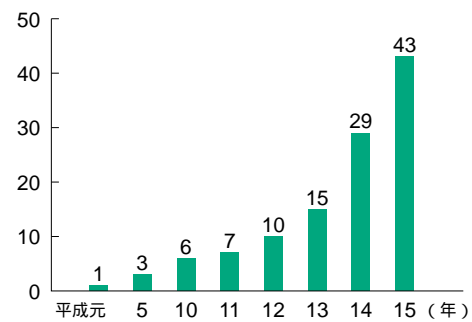


農地の集積



広島県における集落ぐるみでの法人組織は、すべてほ場整備実施地区で設立されています。

広島県における集落法人数の推移(累計)



整備されたほ場における機械作業



「さわやか田打」の組合員